



Guard

ユーザ ガイド



## Guard: ユーザ ガイド

発行日 水曜日, 23. 3 月 2016 バージョン 2.2.0.0

製作著作 © 2016–2016 OX Software GmbH , このドキュメントは OX Software GmbH の知的所有物です。

このドキュメントの全部または一部をコピーする場合、各コピーにこの著作権情報を明記する必要があります。このドキュメントの内容は細心の注意を払って編集されていますが、情報の誤りを完全に排除することはできません。OX Software GmbH、著者、および翻訳者は、記述の誤りとそれによって生じる結果について、いかなる責任も負うものではありません。このドキュメントで使用されるソフトウェアの名称およびハードウェアの名称は登録商標である可能性があり、無償での使用が保証されているものではありません。OX Software GmbH は原則的に、製造元によるつづりの表記に従います。このドキュメントでは（注釈を付記せずとも）ブランド名、商標、ロゴなどを使用していますが、（商標とブランド名に関する法律により、）これらのブランド名等を無償で使用できることを示すものではありません。

---

# 目次

1 このドキュメントについて .....	5
2 Guardの概要 .....	7
3 Guard .....	9
3.1 セットアップGuard .....	10
3.2 メールやり取りを暗号化する .....	11
3.2.1 暗号化されたメールの閲覧 .....	11
3.2.2 暗号化されたメールの送信 .....	11
3.2.3 外部の宛先へのアクセス .....	12
3.3 ファイルの暗号化 .....	13
3.3.1 ファイルの暗号化 .....	13
3.3.2 新しい暗号化ファイルの作成 .....	13
3.3.3 暗号化ファイルを開く .....	13
3.3.4 暗号化ファイルのダウンロード .....	14
3.3.5 ファイルの復号 .....	14
3.4 Guard からのサイン アウト .....	15
3.5 Guard 設定 .....	16
3.5.1 Guard セキュリティ設定 .....	16
3.5.2 Guard初期設定 .....	17
3.5.3 管理鍵 .....	18
索引 .....	21

---

---

# 1 このドキュメントについて

このドキュメントを活用するために理解しておくべき情報を次のトピックごとに説明します。

- [このドキュメントの対象読者](#)
- [このドキュメントに記載されている内容](#)
- [その他のドキュメント](#)

## このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、許可されていないアクセスに対し、メールやファイルを保護するための暗号化機能を使用するユーザを対象にしています。

## このドキュメントに記載されている内容

このドキュメントは、次の情報が含まれます。

- [Guardの概要](#)では、Guardの概要について説明します。
- [Guard](#)では、Guardの使用方法について説明します。

このドキュメントでは、グループウェアの一般的なインストール方法と構成方法について説明します。ご利用のグループウェアのインストールバージョンならびに構成によっては、記載の方法と異なる場合があります。

## その他のドキュメント

グループウェアに関する全般的な情報は、Groupwareのユーザガイドを参照してください。



---

## 2 Guardの概要

Guardは、メールおよびファイルを暗号化するグループウェアセキュリティコンポーネントの一つです。

- ユーザや外部の人とやりとりするメールを暗号化します。
- 単体ファイルを暗号化します。暗号化されたデータを他のユーザと共有します。
- セキュリティオプションを使用して、暗号化レベルを指定します。
- 暗号化されたデータをパスワードで保護します。また、パスワードリセット機能を使用して、パスワードを紛失しても暗号化ファイルを処理します。





---

## 3 Guard

*Guard*アプリケーションの使用方法を次のトピックごとに説明します。

- 基本設定を[適用](#)
- [メール](#)を暗号化
- [ファイル](#)を暗号化
- セキュリティ設定を[適用](#)

## 3.1 セットアップGuard


使う前にGuardの基本設定を適用しなければなりません。

- まず、Guard セキュリティパスワードを設定してください。そのパスワードはデータの暗号化と暗号化されたデータのデコードに使われます。
- 二番目のメール アドレスを入力します。このメール アドレスは、お使いの Guard セキュリティ パスワードを忘れたときに使用します。これには、Guard セキュリティ パスワードのリセット機能を使用します。新しいパスワードが送信されます。セキュリティ上の理由により、二番目のメール アドレスを設定しておくことを強くお勧めします。設定しなければ、新しいパスワードが最初のメールアカウントに送信されます。


基本設定にはオプション2つあります。

- 初めて暗号化機能を使用するときに基本設定をセットアップする
- 初めて暗号化機能を使用する前に基本設定をセットアップする

### 初めて暗号化機能を使用するときに基本設定をセットアップする

1. 暗号化 アイコン  をクリックし、メールの作成時、ファイルの暗号化時、または、新規ファイルのアップロード時で、暗号化機能を有効にします。
2. Guard セキュリティ パスワードと二番目のメール アドレスを入力するよう、促されますので、データを入力します。

### 初めて暗号化機能を使用する前に基本設定をセットアップする

1. メニュー バーの右側にある システム メニュー アイコン  をクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーのGuard セキュリティ設定をクリックします。  
Guard セキュリティ設定を初めて選択すると、Guard セキュリティ キーを作成 ウィンドウが開きます。
3. パスワード フィールドで、データを暗号化するためのパスワードを入力します。  
確認 フィールドで、同じパスワードを再度入力します。
4. 新しい二番目のメールを入力フィールドに、Guardセキュリティパスワードのリセット用の仮パスワードを受け取るためのメールアドレスを入力します。
5. OK をクリックします。

## 3.2 メールのやり取りを暗号化する


次のようなオプションの機能があります。

- 暗号化されたメールの閲覧
- 暗号化されたメールの送信
- 外部の宛先へのアクセス

### 3.2.1 暗号化されたメールの閲覧

暗号化されたメールを閲覧するには、Guard セキュリティ パスワードが必要です。暗号化されたメールの差出人は、追加のパスワードでメールを保護できます。

#### 暗号化されたメールを閲覧する

1. 暗号化 アイコン  が付いたメールを選択します。詳細ビューで、セキュアなメールです。Guard セキュリティ パスワードを入力してください。 の通知が表示されます。  
注：最後にGuardを使用した時にセキュリティパスワードを覚えるように設定した場合、メールが設定によって、すぐに表示されます。
2. Guard セキュリティ パスワードを入力します。  
セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これには、Guard へのログインを保持 を有効にします。一覧から目的の値を選択します。
3. OK をクリックします。内容がテキストで表示されます。  
メールにファイルが添付されている場合、添付されたファイルの暗号化バージョンや復号されたバージョンを使う機能が表示されます。


注： 暗号化されたメールを使用している場合は、このメールに返信したり、転送のみできます。

### 3.2.2 暗号化されたメールの送信

次のようなオプションの機能があります。

- 暗号化されたメールの送信。差出人と宛先しかメールの内容を読めません。  
警告： 暗号化されたメールの下書きを送信する場合は、下書き フォルダから送信されたと同時に削除されます。
- 署名付きのメールを送信。署名を付けることによって宛先は通信中のメール内容が変わったかどうかを判断することができます。
- 署名付きの暗号化されたメールの送信。

#### 暗号化されたメールを送信する

1. メールアプリケーションの中でメールを作成してください。  
新規メールを作成 ページで、右上の 暗号化 アイコン  をクリックします。  
件名下の セキュリティ をクリックすることもできます。暗号化を有効にする
2. 追加オプションを表示するには、セキュリティをクリックします。次のオプションを起動できます。  
メールの署名を可能にするためにサインを有効にしてください。  
宛先のメールクライアントがPGPに対応しなくてもメールの内容が読めるようにするためにインライン PGP を有効にしてください。この場合はHTML形式のメールを送信することはできません。
3. セキュア送信 をクリックします。  
外部の宛先に送信するとき、暗号化されたメールを開くときの注意事項 [12] を外部の宛先に送信するためのウィンドウが表示されます。

### 3.2.3 外部の宛先へのアクセス

グループウェアのユーザでない外部の宛先に、暗号化されたメールを送信することもできます。最初の暗号化されたメールをこの外部の宛先に送ると、以下のようになります。

- 特別なアカウントが外部の宛先に自動的にセットアップされます。
- 暗号化されたメールに関する通知またはカスタムの通知を自動的に作成し、外部の宛先に送信するかどうかを設定します。
- 通知が添付されたメールと自動作成されたパスワードを外部の宛先に送信します。

グループウェアの設定によって、4桁のPIN番号を受取人に送信し、自動作成されるパスワードをさらに強化できます。

- 外部の宛先に特別なアカウントへのログインページのリンクが貼られたメールが届きます。
- 外部の宛先は自動的に生成されたパスワードをログインページに入力します。

宛先は生成されたパスワードを自動で変更しなければなりません。パスワードがなくなった場合にリセットできるようにするには、セキュリティに関する質問とそれに対する適切な答えを指定してください。

暗号化されたメールが表示されます。

- 外部の宛先は暗号化された返信をメールに送ることができます。

次の暗号化されたメールをこの外部の宛先に送ると、以下のようになります。

- 外部の宛先に特別なアカウントへのログインページのリンクが貼られたメールが届きます。
- ログインページに、宛先側が最初に暗号化されたメールを受け取った時に設定したパスワードを入力します。

パスワードを覚えていない場合、新しいパスワードを要求できます。その場合、セキュリティに関する質問にきちんと答えなければなりません。

## 3.3 ファイルの暗号化

次のようなオプションの機能があります。



- ファイルの暗号化
- 新しい暗号化ファイルの作成
- 暗号化ファイルを開く
- 暗号化ファイルのダウンロード
- ファイルの復号

### 3.3.1 ファイルの暗号化

ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョンのみが暗号化されます。その他のすべてのバージョンは削除されます。

#### ファイルを暗号化する

**警告:** ファイルの暗号化時には、そのファイルの最新バージョン以外のすべてのバージョンが削除されます。過去のバージョンを維持するには、ファイルの暗号化前に保存してください。

1. ドライブアプリケーションの1つまたは複数のファイルを選択します。ツールバーの**アクション** アイコンをクリックします。メニューで **暗号化** をクリックします。  
ビューアでも **アクション** アイコンを使用できます。メニューで、**暗号化** をクリックします。
2. ファイルが複数のバージョンを含む場合、**ファイルを暗号化**ウィンドウが表示されます。ファイルの暗号化と過去のすべてのバージョンの削除を確定するには、**OK** をクリックします。  
ファイルのバージョンは一つしかない場合は何も求められずに暗号化されます。

### 3.3.2 新しい暗号化ファイルの作成

ローカル ファイルを暗号化した上でアップロードすることによって、新しい暗号化ファイルを作成できます。

#### 新しい暗号化ファイルを作成する


1. ドライブアプリケーションで、フォルダツリーのフォルダを選択します。  
注: オブジェクトを作成する権限のあるフォルダを開いてください。
2. ツールバーで、**新規** をクリックします。**ローカルファイルを追加および暗号化** をクリックします。
3. **更新ファイル**ウィンドウの1つまたは複数のファイルを選択します。  
**開く** をクリックします。表示エリアには現在の進行ステータスが表示されます。  
処理をキャンセルするには、表示エリアの右側下にある**ファイル詳細** をクリックします。**読み込み進行** ウィンドウで、ファイル名横の**キャンセル** をクリックします。

**ヒント:** お使いのオペレーティング システムのデスクトップからファイルをドラッグし、ドライブ アプリケーション ウィンドウの上部にドロップすることでも、新しい暗号化ファイルを作成できます。

### 3.3.3 暗号化ファイルを開く

暗号化されたファイルを開き、閲覧できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。



### 暗号化されたファイルを開く

1. ドライブ アプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーで、**ビューア** アイコン  をクリックします。
2. *Guard* セキュリティ パスワードを入力 ウィンドウで、*Guard* セキュリティ パスワードを入力します。セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これを行うには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。  
**OK** をクリックします。

## 3.3.4 暗号化ファイルのダウンロード

暗号化ファイルをローカルにダウンロードし、閲覧または編集できます。ファイルは、サーバ上で暗号化されたままになります。


### 暗号化されたファイルをダウンロードする

1. ドライブ アプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーで、**ビューア** アイコン  をクリックします。  
注: ポップアップで、**ダウンロード** をクリックすると、ダウンロードされたファイルが暗号化されたままになります。
2. *Guard* セキュリティ パスワードを入力 ウィンドウで、*Guard* セキュリティ パスワードを入力します。セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これを行うには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。  
**OK** をクリックします。
3. ビューアの**アクション** アイコン  をクリックします。**復号されたファイルをダウンロード** をクリックします。

## 3.3.5 ファイルの復号

ファイルを復号すると、ファイルの暗号を解除できます。

### ファイルを復号する


1. ドライブ アプリケーションで、表示エリアの暗号化ファイルを選択します。ツールバーの**アクション** アイコン  をクリックします。メニューで、**暗号化を削除** をクリックします。
2. *Guard* セキュリティ パスワードを入力 ウィンドウで、*Guard* セキュリティ パスワードを入力します。セキュリティ パスワードを記憶する期間を指定できます。これを行うには、**パスワードを記憶** を有効にします。一覧から目的の値を選択します。  
**OK** をクリックします。

## 3.4 Guard からのサイン アウト

グループウェアを閉じずに Guard からサイン アウトできます。サイン アウト後に暗号化されたメール、ファイル、フォルダを開くには、Guard セキュリティ パスワードを再度入力します。

注: この機能は、暗号化されたメールやファイルを開いたときに **パスワードを記憶** を有効にしたときのみ、適用されます。

### Guard からサイン アウトする

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。
2. メニューで、**Guard をサイン アウト** をクリックします。

## 3.5 Guard 設定

次のようなオプションの機能があります。


- Guard セキュリティパスワードを管理するには、Guard セキュリティ設定を使用します。
- 安全なメールを送信するための初期設定を変更するには、Guard 初期設定を使用します。
- PGP鍵を管理することができます

### 3.5.1 Guard セキュリティ設定


次のようなオプションの機能があります。

- Guard セキュリティ パスワードを変更
- Guard セキュリティ パスワードを忘れた場合、二番目のメール アドレスに一時 Guard セキュリティパスワードを送信できます。これを行うには、Guard セキュリティ パスワードをリセットします。
- 二番目のメール アドレスを変更


#### Guard セキュリティ パスワードの変更方法

1. メニュー バーの右側にある システム メニュー アイコン  をクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーのGuard セキュリティをクリックします。
3. パスワードの下の現在のGuardセキュリティパスワードの入力 フィールドに今までデータの暗号化に使用してきたパスワードを入力します。  
新しいGuardセキュリティパスワードの入力 フィールドで、これからデータの暗号化に使用したいパスワードを入力します。  
新しいGuardセキュリティパスワードの確認フィールドにパスワードを再度入力してパスワードを確認します。
4. Guardセキュリティパスワードの変更をクリックしてください。

#### Guardセキュリティパスワードのリセット方法：

1. メニュー バーの右側にある システム メニュー アイコン  をクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーのGuard セキュリティをクリックします。
3. Guardセキュリティパスワードのリセットをクリックします。新しいパスワードが二番目のメールアドレスに送信されます。  
二番目のメールアドレスを入力していない場合は、新しいパスワードが一番目のメールアドレスに送信されます。
4. この新しいパスワードが現在のGuardセキュリティパスワードとなります。すぐにこのパスワードを変更してください。

#### 暗号化されたパスワードのリセット用二番目のメールアドレスの変更方法


1. メニュー バーの右側にある システム メニュー アイコン  をクリックします。メニューで、設定の項目をクリックします。
2. サイドバーのGuard セキュリティをクリックします。
3. 二番目のメールの下にある 現在のGuardセキュリティパスワードの入力フィールドにデータの暗号化用パスワードを入力します  
新しい二番目のメールを入力フィールドに、Guardセキュリティパスワードのリセット用の仮パスワードを受け取るためのメールアドレスを入力します。  
メールの変更をクリックします。



## 3.5.2 Guard初期設定

初期設定は、メール作成時に利用可能な規定の設定を指定します。新規メール作成時、初期設定の調整をメール送信前に行えます。

初期設定の変更方法：

1. メニューバーの右側にある **システムメニュー** アイコン  をクリックします。メニューで、**設定**の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**Guardセキュリティ**を選択します。サイドバーの**Guard PGP 設定**をクリックします。
3. **PGP 暗号化設定**下の設定を変更します

次の設定が利用できます。

**メールの作成時に暗号化をデフォルトにする**

新規メールをデフォルトごとにPGPで暗号化するかどうかを指定する

**送信メールへサインの追加をデフォルトにする**

新規メールをデフォルトごとにPGPで暗号化するかどうかを指定する

**互換性のための PGP デフォルトは インライン PGP にする**


PGP 暗号化がインラインで行えるかどうかを指定します。宛先のメールクライアントがPGPサポートされていない場合はこの設定だけを使用してください。メッセージは読むことができます。この場合はHTML形式のメールを送信することはできません。

### 3.5.3 管理鍵

暗号化されたメッセージの送受信には、管理鍵の機能は基本的には必要ありません。この機能は以下の要件については使用可能です。

- ローカルメールクライアントなどの他のメールクライアントでGuard PGP鍵を使用したい。
- PGPアプリケーションからのPGP鍵がある。その鍵をGuardで使用したい。
- 外部パートナーの公開鍵を持っている。この外部パートナーからの暗号化されたメッセージを鍵サーバーにアクセスせずに読むために、パートナーの公開鍵をGuardにインポートしたい。
- 受信者が鍵サーバーにアクセスせずに暗号化されたメッセージにアクセスして読むために、受信者に自分の公開鍵を提供したい。

自分の鍵を管理するページを開ける方法：

1. メニュー バーの右側にある **システム メニュー アイコン**  をクリックします。メニューで、**設定** の項目をクリックします。
2. サイドバーで、**Guardセキュリティ** を選択します。Guard PGP 設定をクリックします。

このページでは、次の要素があります。

- **Guard の既定設定を変更するオプション**
- **あなたの鍵セクション**。秘密と公開 PGP 鍵を管理する機能が含まれます。
- **公開鍵セクション**。あなたまたは他のユーザと共有している公開鍵を表示。ユーザの公開鍵がこのリストに表示されている場合、このユーザに暗号化して送信したメールを復号することができるかとみなせません。

次の機能が利用できます。

- 自分の公開鍵をダウンロードする
- メールごとに自分の公開鍵を送信する
- ローカル鍵をアップロードしたり、新しいGuard鍵を作成して既存の鍵に新しい鍵を追加する
- 自分の秘密鍵をダウンロードする
- 外部パートナーの公開鍵をアップロードする

自分の公開鍵のダウンロード方法：

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. Click on **あなたの鍵**の下にある**自分の公開鍵**をクリックします。

メールごとに自分の公開鍵を送信する方法：

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. **あなたの鍵**の下にある**公開鍵をメールする**をクリックします。

**新しい鍵を自分の鍵に追加する方法：**

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. 追加アイコン+をクリックします。鍵の追加 ウィンドウが開きます。
3. 次のようなオプションの機能があります。
  - 秘密鍵の追加には、**秘密鍵をアップロードする**をクリックします。秘密鍵を含むファイルを選択してください。秘密鍵のアップロードウィンドウが開きます。  
新しい鍵のアップロードには、Guardセキュリティパスワードを入力してください。新しい鍵用の新しいパスワードを入力します。
  - 公開鍵の追加の場合、**公開鍵のみを追加する**をクリックします。公開鍵を含むファイルを選択してください。
  - 新しい鍵ペアを作成する場合は、**新しい鍵を作成する**をクリックします。Guard セキュリティ鍵ウィンドウが開きます。  
新しい鍵用のパスワードを入力します。パスワードを確認してください。  
あなたの鍵リスト下に新しい鍵が入力されます。

**秘密鍵のダウンロード方法：**

注意：秘密鍵をご自分のローカルマシンにダウンロードするのは、安全上のリスクを生じる可能性があります。他の誰もご自分の秘密鍵にアクセスできないことを確認してください。

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. ダウンロードアイコン↓をクリックします。

**外部パートナーの公開鍵のアップロード方法：**

1. 設定で鍵を管理するページを開けます。
2. 追加アイコン+をクリックします。公開鍵を含むファイルを選択してください。

---

---

# 索引

## シンボル

- ×Guard, 7
- サイン アウト
  - パスワードの変更, 15
- ドキュメント, 5
- パスワードのリセット, 16
- パスワードの変更, 16
- ファイルの暗号化, 13
- ファイルを復号する, 14
- メールのやり取りを暗号化する, 11
- 新しい暗号化ファイルを作成する, 13
- 暗号化
  - ファイル, 13
  - 新しい暗号化ファイルの作成, 13
- 暗号化されたメール
  - 外部の宛先へのアクセス, 12
  - 拒否する, 11
  - 読む, 11
  - 送信する, 11
- 暗号化する
  - メールのやり取りを, 11
- 暗号化ファイル
  - ダウンロード, 14
  - 復号, 14
  - 開く, 13
- 暗号化ファイルをダウンロードする, 14
- 暗号化ファイルを開く, 13

## G

- Guard, 9
  - サイン アウト, 15
  - セキュリティ設定, 16
  - セットアップ, 10
  - 初期設定, 17
  - 管理鍵, 18
  - 設定, 16
- Guard PGP 設定
  - メール作成時に暗号化をデフォルトにする, 17
  - メール送信の署名付きをデフォルトにする, 17
  - 互換性のための PGP デフォルトは インライン PGP にする, 17
- Guard 設定
  - パスワードのリセット, 16
  - パスワードの変更, 16

